

みんなの ルールメイキング

校則 / ルールの見直しを通じて
対話的な問題解決力を育成する

認定NPO法人カタリバ



「みんなのルールメイキング」とは、生徒が中心となり、先生や関係者と対話しながら校則・ルールを見直していく取り組みです。生徒にとって身近な「校則」に着目し、「決められたとおりに従う」のではなく、立場や意見の違う人たちと、対話から納得解をつくるプロセスを大切にしています。そうした経験を通して、身の回りの課題に気づき、当事者意識をもって行動する力や、社会参画への意識を高めることを目指しています。

「校則見直し」を題材とした教育活動は近年注目を集めており、2022年12月に改訂された文部科学省の『生徒指

導提要』においても、校則の見直しに児童・生徒が参加することが望ましいことや、校則改定の取り組みが教育的意義を有することが新たに記載されました。こういった社会的背景も後押しし、全国の学校（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校など）にルールメイキングの実践が広がっています。この取り組みは、経済産業省「未来の教室」の実証事業にも採択されました。

(2019・2020・2021・2022年度)



全国でルールメイキングに取り組む学校が増えています。

パートナー校
先進事例校一覧

四国 10

九州・沖縄 23

海外 2

関西 43

中国 9



北海道・東北 17

関東 105

北陸 20

東海 23

ルール
メイキング
連携校数

合計 252 校

※2022年8月31日時点



ルールメイキング・ パートナーのご案内

交流会や勉強会などを通じて、ルールメイキングに関心がある全国の先生が繋がり、お互いの事例を学び合うことができます。また、事務局とのオンライン会議やチャット相談といった個別相談もできるので、実際の学校現場で役立つ情報を得ることができます。ルールメイキング・パートナーは参加無料です。

\ SUPPORT /

1 全国の学校の事例や取り組みを知る

事例を知る

みんなのルールメイキングでは全国 250 校以上の学校と連携し、ルールメイキングを進めています。近隣エリアの学校事例、生徒・先生との納得解のつくり方を知りたい等、ご要望に応じて実践事例をご紹介します。



\ SUPPORT /

2 学校ごとの個別相談・講師の派遣

相談する

校則見直しを進めるにあたって、事務局に個別相談をすることができます。現状や課題をヒアリングし、プロジェクトの進め方を一緒に検討します。必要に応じて、校則問題に詳しい弁護士・ファシリテーターを、研修の際に学校へ派遣することもできます。



\ SUPPORT /

3 生徒・先生同士の交流

繋がる

教員向け研修や、全国のルールメイキング実践校の交流会など、パートナーのみが参加できるイベントを年間通して開催しています。全国の先生や生徒が、学校の枠を超えて繋がり、学び合う機会を提供します。



パートナー登録方法

● サポートを受けたい場合 (パートナー登録手続き)

公式サイトより、パートナーにお申込みください。学校・先生個人どちらでもお申込みが可能です。

※学校としての同意が取れておらず、先生個人で情報を集めているという場合も、ご参加いただくことが可能です。

● 支援内容を詳しく知りたい場合

パートナー制度やルールメイキング事業について詳しく知りたい場合は、公式サイトをご確認ください。

事務局に個別で相談ができる「ルールメイキング説明会・相談会」も定期開催しております。(開催日は公式サイトにてお知らせいたします)



パートナー
登録はこちら
(登録無料)

● 事務局へのお問い合わせ

メールアドレス：
rulemaking@katariba.net

ルールメイキング活動のステップ



Step1 課題設定

対話やルールのマインドセットを行ったうえで、見直したい校則・ルールを決めます。ルールメイキングに取り組む最上位目的の設定なども行います。

Point

異なる意見を排除するのではなく、多様な他者の意見に耳を傾けながら、学校内外の複数の立場を取り入れて**納得解**をつくっていきます



Step2 情報収集

多様な関係者からの声を聞き、情報を集めながら、具体的な校則・ルールの見直し案をつくります。

Point

自分の意見にも価値があると思える経験を通して、**もっと社会に関わりたいと思う意識を育てます**



Step3 提案・見直し

新しいルールを提案し、全校へ周知します。変更されたルールに問題点はないか振り返り、次の見直しにつなげていきます。

ルールメイキングに参加した先生方の声 ※実践校先生インタビューより



校則見直しの必要性を感じつつも、どこから進めればよいのか分からず、外部のサポートを受けたいと思い、参加しました。ルールメイキングに取り組んだことで、生徒たちが以前よりも自信をつけて、主体的に動けるようになったほか、教員の考え方や学校全体の雰囲気も大きく変わりました。生徒に対して、説明のつかない指導をする必要がなくなり、生徒や保護者との信頼関係も良好になりました。

プロジェクトを通じて、生徒の声を取り入れながら見直しが進んだ校則（一例）

髪型

- ・ツーブロック規定
- ・前髪の長さ規定
- ・結び方の規定
- ・整髪料の使用許可 等

服装

- ・制服・標準服の見直し
- ・衣替え・着用期間の指定
- ・学校指定品の種類
- ・体操服登校の許可 等

学校生活

- ・放課後・休日の立ち寄り規定
- ・スマホの持ち込み規定
- ・おかしの持ち込み規定
- ・アルバイト規定 等

みんなのルールメイキング
について詳しく知りたい方へ

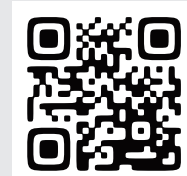
公式WEBサイト



公式X(旧Twitter)



公式Facebook



ルールメイキング。 サミット 2023

9.24 [SUN]
14:00-17:00
※13:30～観覧受付開始

桜美林大学 新宿キャンパス
(JR新大久保駅 徒歩7分)



中高生ルールメイカー
100人
×
各界の
トップランナー
と考える学校づくり

プログラムの流れ

12:00 100人100物語ピッチ

ルールメイカー100の皆さん一人ひとりが、1分間の自由ピッチを行います。ルールメイキングで得た学びや成長以外にも、今抱えている不安や悩みなどの葛藤、社会や周りの大人に対して思うこと...など自由に表現ができる時間です。

※教育関係者に限り12時から入場し、100人100物語ピッチから観覧することができます。



14:50 社会で活躍するルールメイカーのトークセッション

学校の中でのルールメイキングから社会のルールメイキングへ、視点や考え方を広げていくセッションです。社会で活躍するルールメイカー3名とナビゲーターでお送りするトークセッションを実施します。



15:30 ブレイクアウトタイムでの対話(分科会)

各分科会に分かれ、サポーターとの対話をするセッションです。分科会会場は自由に行き来が可能となっていますので、観覧の皆さんもお好きな分科会を選択できます。



登壇サポーター



石山アンジュ氏
(一社)Cift 代表理事

1989年生まれ。「シェア(共有)」の概念に親しみながら育つ。シェアリングエコノミーを通じた新しいライフスタイルを提案する活動を行うほか、政府と民間のパイプ役として規制緩和や政策推進にも従事。2018年10月ミレニアル世代のシンクタンク(一社)Public Meets Innovationを設立。新しい家族の形「拡張家族」を掲げるコミュニティ(一社)Cift代表理事。



為末大氏
(株)Deportare Partners 代表

1978年広島県生まれ。スプリント種目の世界大会で日本人として初のメダル獲得者。男子400メートルハードルの日本記録保持者(2023年6月現在)。現在は執筆活動、身体に関わるプロジェクトを行う。主な著作に『Winning Alone』『走る哲学』『諦める力』など。45歳を迎えた今年、アスリートとしての学びをまとめた「熱達論」を刊行予定。



三浦宗一郎氏
(一社)HASSYADAY social

1995年生まれ愛知県出身。中学卒業後、トヨタ自動車の企業内訓練校・トヨタ工業学園に進学。卒業後、トヨタ自動車に就職し、自動車製造に関わる。2017年に内閣府「世界青年の船」の日本代表に選出され、トヨタ自動車を退職し、約20カ国を旅する。2018年より株式会社ハッシャダイに入社し、ヤンキーインタンの講師を務め、2020年より(一社)HASSYADAI socialを設立し代表理事に就任。



苦野一徳氏
熊本大学教育学部 准教授

1980年兵庫県生まれ。熊本大学教育学部准教授。哲学者、教育学者。主な著書に『どのような教育が「よい」教育か』(講談社選書メチエ)、『教育の力』(講談社現代新書)、『自由はいかに可能か』(NHKブックス)、『子どもの頃から哲学者』(大和書房)、『はじめての哲学的思考』(ちくまプリマー新書)、『「学校」をつくり直す』(河出新書)がある。ルールメイキングの指針となる「みんなのルールメイキング宣言」の監修をつとめる。



今村久美氏
認定NPO法人カタリバ 代表理事

岐阜県高山市出身、79年生まれ。慶應義塾大学卒。2001年にNPOカタリバを設立、高校生のためのキャリア学習プログラム「カタリ場」を開始。2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じて様々な教育活動に取り組む。「ナナメの関係」と「本音の対話」を軸に、思春期世代の「学びの意欲」を引き出し、大学生など若者の参画機会の創出に力を入れる。

会場

桜美林大学 新宿キャンパス センテナリオホール
〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目23-1

 桜美林大学
J. F. Oberlin University

詳細・申込

特設サイト



観覧申込



2022ダイジェスト動画

